

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number : 07-336318

(43) Date of publication of application : 22.12.1995

(51)nt-Cl

H04H 1/00

HO4L 9/28

HO4N 5/78

(21) Application number : 06-129117

(71)Applicant : NTT TEREKA KK

(22) Date of filing : 10.06.1994

(72) Inventor : YAMAGISHI YOSHIO

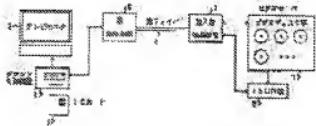
SHIMIZU TOSHIO

(54) VIDEO ON DEMAND SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a video on demand system capable of viewing the continuance of the same program in a different optional time band when the viewing of the program is stopped in the middle.

CONSTITUTION: The IC card 8 can be mounted to the demand controller 6 of a video terminal, a program code is received from a video server 1 and recorded in the IC card 8 to which a user ID is registered beforehand when a user issues a distribution request and further, the demand controller 6 records the data of the elapsed time of the program distributed when the reception of video data is stopped in the IC card 8. When the user issues the distribution request of the same program after the reception of the video data is stopped, the demand controller 6 reads the program code and the data of the elapsed time recorded in the IC card 8 and transmits them to the video server 1. The video server 1 distributes the video data of the program from a reception stopped position based on the program code and the data of the elapsed time transmitted from the demand controller 6.



LEGAL STATUS

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(1)特許出願公開登録

特開平7-336318

(43) 公開日 平成7年(1995)12月22日

(5) 识别号： H04L 9/02 技术表示图所
分类号： F 11
H04L 9/28
H04N 5/76 B
H04L 9/02 A

(21) 出願番号 特願平6-129117

(22)由繩日 本城 6 年(1994)6 月 16 日

審査請求 未請求 請求項の数 4 ○ 1 (全 6 頁)

(71) 出題人 000133951

株式会社エヌ・ティ・ティ・テレカ
東京都新宿区西新宿1丁目24番1号

(72) 亮明者 山岸 譲男

東京都新宿区西新宿一丁目24番1号 株式会社エヌ・ティ・ティ・テレカ内

(72)發明者 濱大 健夫

東京都新宿区西新宿一丁目24番1号 梱式
会社エヌ・ティ・ティ・テレカ内

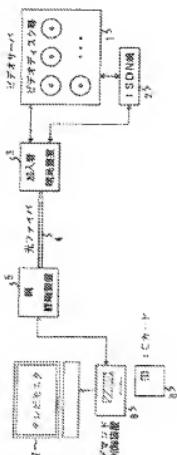
(7-1)代埋入 井壁土 鉴江 武寧

(54) [発明の名前] ビデオ・オン・デマンド・システム

(57) [累行]

【目的】番組の視聴を途中で停止した場合に、同じ番組の続きを別の任意の時刻帯に視聴できるビデオ・オン・デマンド・システムを提供する。

【構成】映像端末のデマンド制御装置6にICカード8を挿入可能とし、ユーザが配信要求を出したとき番組コードをビデオサーバ1から受け取ってユーパーIDが予め登録されているICカード8に記録し、さらにデマンド制御装置6が映像データの受信を停止したとき配信されていた番組の経過時間のデータをICカード8に記録する。デマンド制御装置6は、映像データの受信を停止した後に同じ番組の配信遅延をユーパーが出したとき、ICカード8に記録されている番組コードおよび経過時間のデータを読み取ってビデオサーバ1へ送信する。ビデオサーバ1は、デマンド制御装置6から読み取ってきた番組コードおよび経過時間のデータに基づいて受信停止位置からその番組の映像データを取出す。



【特許請求の範囲】

【請求項1】映像端末を使用するユーザからの配信要求に応答して、複数の番組の映像データを蓄積したビデオサーバから、前記ユーザが希望する番組の映像データを前記映像端末へ配信するビデオ・オン・デマンド・システムにおいて、

前記映像端末に装填される1Cカードに、前記ビデオサーバから配信された番組の経過時間のデータを記録する記録手段と、

前記1Cカードに記録されている経過時間のデータを読み取って前記ビデオサーバへ送信する送信手段とを備置し、

前記ビデオサーバは、前記映像端末が映像データの受信を停止した後に同じ番組の映像データの配信要求を前記ユーザから受けたとき、前記送信手段により送信されてきた前記経過時間のデータに基づいて受信停止位置から該番組の映像データを配信することを特徴とするビデオ・オン・デマンド・システム。

【請求項2】映像端末を使用するユーザからの配信要求に応答して、複数の番組の映像データを蓄積したビデオサーバから、前記ユーザが希望する番組の映像データを前記映像端末へ配信するビデオ・オン・デマンド・システムにおいて、

前記映像端末に装填された前記ユーザの識別情報を示すユーザIDと番組コードを前記1Cカードに、前記ビデオサーバから映像データが配信された番組を示す番組コードおよび該番組の経過時間のデータを記録する記録手段と、

前記1Cカードに記録されているユーザIDと番組コードおよび経過時間のデータを読み取って前記ビデオサーバへ送信する送信手段とを備置し、

前記ビデオサーバは、前記映像端末が映像データの受信を停止した後に前記送信手段により送信されてきたユーザIDと番組コードおよび経過時間のデータを受信したとき、該番組コードおよび経過時間のデータに基づいて受信停止位置から該番組の映像データを配信することを特徴とするビデオ・オン・デマンド・システム。

【請求項3】前記記録手段は、前記番組コードについて前記ユーザからの配信要求に対して前記ビデオサーバから送信されてきた番組コードを前記1Cカードに記録し、前記経過時間のデータについては前記映像端末が映像データの受信を停止したとき該1Cカードに記録することを特徴とする請求項1に記載のビデオ・オン・デマンド・システム。

【請求項4】前記送信手段は、前記映像端末が映像データの受信を停止した後に該映像端末に前記1Cカードを装填したとき、該1Cカードに記録されているユーザIDと番組コードおよび経過時間のデータを読み取って前記ビデオサーバへ送信することを特徴とする請求項1に記載のビデオ・オン・デマンド・システム。

【明細書の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ビデオ・オン・デマンド・システムに係り、特にビデオサーバから配信される番組の経過時間を1Cカードにより管理するようにしたビデオ・オン・デマンド・システムに関する。

【0002】

【従来の技術】一般家庭で映画やコンサートなどの番組をユーザが希望するときに視聴できるシステムとして、ビデオ・オン・デマンドが考案されている。ビデオ・オン・デマンドは、例えば「日経コミュニケーションズ」1994年4月4日号の第82頁～第83頁に記載されているように、一般家庭などに備えられた映像端末から、センタに設けられた多数の番組のデータを蓄積したビデオサーバと呼ばれるデータベースにアクセスして、ビデオサーバからユーザの希望する番組を配信するシステムである。本手順としては、映像端末を所有するユーザがビデオサーバに対して所望の番組の配信要求を行うと、その番組の映像データがビデオサーバから映像端末へ配信される。

【0003】

【明細書が解決しようとする課題】従来のビデオ・オン・デマンド・システムでは、ユーザが出事などで視聴を中断したい場合、配信停止要求により番組の配信を止めることはできる。しかし、ユーザがいったん配信停止要求を出して番組の途中で映像を止めると、その番組の続きを別の時間帯に見るという制御を行うことは不可能であった。すなわち、ユーザが番組の視聴を中断して後で続きをみたい場合でも、ユーザはその番組を最初から配信してもらい、最初に中断した位置まで同じ内容を再生することになり、時間と通信料金の節約という観点から問題であった。

【0004】本発明は、映像端末のユーザが番組の視聴を途中で停止した場合に、同じ番組の続きを別の位置の時間帯に視聴できるようにしたビデオ・オン・デマンド・システムを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するため、本発明はビデオ・オン・デマンドによって配信される番組の経過時間を1Cカードの記憶機能を利用して管理し、その経過時間のデータに基づいて、中断した番組の続きをユーザが視聴できるようにしたものである。

【0006】すなわち、本発明は映像端末を使用するユーザからの配信要求に応答して、複数の番組の映像データを蓄積したビデオサーバから、ユーザが希望する番組の映像データを映像端末へ配信するビデオ・オン・デマンド・システムにおいて、映像端末に装填された1Cカードにビデオサーバから配信された番組の経過時間のデータを記録する記録手段と、1Cカードに記録されている経過時間のデータを読み取ってビデオサーバへ送信する

送信手段とを共用する。そして、ビデオサーバは映像端末が映像データの受信を停止した後に同じ番組の映像データの配信要求をユーザから受けたとき、送信手段により送信されてきた経過時間のデータに基づいて受信停止位置から該番組の映像データを配信するように構成される。

【0007】また、より具体的な態様によると、映像端末に該当されたユーザの識別情報を示すユーザIDが予め記録されているI/Cカードにビデオサーバから映像データが配信された番組を示す番組コードおよび該番組の経過時間のデータを記録する記録手段と、I/Cカードに記録されているユーザIDと番組コードおよび経過時間のデータを読み取ってビデオサーバへ送信する送信手段とを具備する。そして、ビデオサーバは映像端末から映像データの受信を停止した後に送信手段により送信されてきたユーザIDと番組コードおよび経過時間のデータを受信したとき、該番組コードおよび経過時間のデータに基づいて受信停止位置から該番組の映像データを配信するように構成される。

【0008】この場合、記録手段は番組コードについてユーザからの配信要求に対してビデオサーバから送信されてきた番組コードをI/Cカードに記録し、また経過時間のデータについては映像端末が映像データの受信を停止したとき該I/Cカードに記録する。

【0009】一方、送信手段は映像端末が映像データの受信を停止した後に映像端末にI/Cカードを装填したとき、該I/Cカードに記録されているユーザIDと番組コードおよび経過時間のデータを読み取ってビデオサーバへ送信する。

【0010】

【作用】このように本発明のビデオ・オン・デマンド・システムでは、ユーザが何らかの都合で番組の視聴を中断したいために、映像端末が映像データの受信を停止した場合、映像端末に該当されたI/Cカードにその受信停止位置までの経過時間のデータが記録される。そして、ユーザが視聴を中断した番組を別の時間帯で視聴する場合、I/Cカードを映像端末に装填すると、このI/Cカードに記録されている経過時間のデータが読み取られ、ビデオサーバへ送信される。

【0011】ビデオサーバでは、経過時間のデータを受信すると、最初に配信した番組と同じ番組の映像データをこの経過時間のデータで示される時間位置から配信する。これにより、映像端末のユーザは最初に複数した番組を中断した位置から視聴することができる。

【0012】また、I/CカードにさきにユーザIDおよび番組コードを記録しておくようにすれば、このような制御がより容易に可能となる。すなわち、この場合には映像端末が映像データの受信を停止した後に映像端末にI/Cカードを装填したとき、該I/Cカードに記録されているユーザIDと番組コードおよび経過時間のデータが

読み取られてビデオサーバへ送信される。従って、ビデオサーバは映像端末において映像データの受信を停止したユーザをユーザIDにより認識し、このユーザIDで示されるユーザの映像端末に対して、番組コードおよび経過時間のデータに基づいて受信停止位置から該番組の映像データを配信することができる。

【0013】

【実施例】以下、図面を参照して本発明の実施例を説明する。図1は、本発明の一実施例に係るビデオ・オン・デマンド・システムの概略構成を示すブロック図である。同図において、ビデオサーバ1はビデオ・オン・デマンド・システムのセントラルに配置され、映像などの多数の番組のデータを光ディスク(ビデオディスク)に代表される大容量記憶媒体に蓄積したものである。このビデオサーバ1は、直接およびISDN回線2を介して加入者端局装置3に接続されている。加入者端局装置3は光ファイバ4のノードに接続されている。

【0014】一方、ビデオ・オン・デマンド・システムの加入者側には、映像端末としてデマンド制御装置6とテレビモニタ7が備えられている。デマンド制御装置6は、主としてユーザが指定した番組の配信要求をビデオサーバ1に送出し、ビデオサーバ1から配信された番組の映像データをテレビモニタ7に供給して表示させる機能を有し、制御装置6を介して光ファイバ4の他端側に接続されている。また、デマンド制御装置6にはI/Cカード8が接続可能となっている。

【0015】図2は、デマンド制御装置6およびI/Cカード8の内部構成を示す図である。同図に示すように、デマンド制御装置6はISDNインターフェース部11、

制御部12、読み取り/書き込み装置13および接点部14を有する。ISDNインターフェース部11は、網終端装置5と制御部12および読み取り/書き込み装置13との間に介在され、ビデオサーバ1と映像端末との間の情報の授受がISDN回線2を介して行われる場合のインターフェースを担る。制御部12は、網終端装置5、テレビモニタ7、ISDNインターフェース部11および読み取り/書き込み装置13に接続され、後述する各種のデマンド制御を行う。読み取り/書き込み装置13は、I/Cカード8に記録されたデータの読み取りとI/Cカード8へのデータの書き込みを行う。接点部14は、I/Cカード8がデマンド制御装置6に装填された際、両者間の付丹授受を可能とするために、I/Cカード8の後述する接点部と電気的に接続される。

【0016】一方、I/Cカード8はI/Cメモリからなる記憶部21、中央処理部(CPU)22、中央処理部22の処理手順としてのプログラムを格納したROM23および接点部24を有する。記憶部21は、映像端末を使用するユーザに割り当てられ、予め登録されたユーザの識別情報を示すユーザIDと、記録する番組の番組コードおよび視聴中の番組の番組位置からの経過時間のデータ

タを起動する。中央処理部2-2は、ROM2-3に格納されたプログラムに基づきデマンド制御に伴う後述する処理を行う。接点部2-4は、ICカード8がデマンド制御装置6に装着された際、デマンド制御装置6とICカード8との間の信号の受信を可能とするために、デマンド制御装置6の接点部1-4と電気的に接続される。

【0017】以下、本実施例のビデオ・オン・デマンド・システムの動作を図3および図4に示すフローチャートを参照して説明する。なお、以下の説明において、ビデオサーバ1から映像端末側のデマンド制御装置5への情報の通信に際しては、ビデオサーバ1から出力された情報が加入者端局装置3に内蔵または1SDN回線を介して送出され、さらに加入者端局装置3から光ファイバ4および網終端装置5を経由してデマンド制御装置6に送出される。デマンド制御装置6では、ビデオサーバ1から送られてきた情報を網終端装置5より制御部2-1に直接または1SDNインターフェース部1-1を介して取り込む。

【0018】一方、デマンド制御装置6からビデオサーバ1への情報の通信に際しては、制御部2-1から網終端装置5に直接または1SDNインターフェース部1-1を介して必要な情報を送出され、さらに網終端装置5から光ファイバ4および加入者端局装置3を経由してビデオサーバ1に送出される。ビデオサーバ1では、デマンド制御装置6から送られてきた情報を加入者端局装置3により直接または1SDN回線2を介して取り込む。

【0019】最初に、図3を参照して番組の初期受信動作、つまり映像端末が所蔵の番組を最初に受信する際の動作について述べる。この場合、まず映像端末のユーザがICカード8をデマンド制御装置6に装着する(S1-0)。このICカード8の表紙により、記憶部2-1に記憶されているユーザIDがビデオサーバ1に送出される(S1-1)。すなわち、ICカード8をデマンド制御装置6に装着すると、中央処理部2-2によって制御部2-1からユーザIDが読み出される。読み出されたユーザIDは、接点部2-4および接点部1-4を介して読み取り/書き込み装置1-3により読み取られ、制御部2-1からビデオサーバ1に送出される。

【0020】ビデオサーバ1は映像端末側から送出されたユーザIDを受信し、そのユーザIDが既に登録されたものと確認すると、確認確認情報を映像端末側のデマンド制御装置6に送出する。この確認確認情報がデマンド制御装置6で受信されると(S1-2)、デマンド制御装置6はユーザIDによる番組の選択を受け付ける可能な状態となる。ここで、映像端末を使用するユーザが番組リストの中から所望の番組を選択する(S1-3)。その選択した番組を示す番組選択情報を制御部2-1からビデオサーバ1に送出される。このようにしてデマンド制御装置6からユーザIDと番組選択情報をビデオサーバ1に送信することにより、ユーザからビデオサーバ1に対する番組の配信要求がなされたことになる。ビデオサーバ1は、デマンド制御装置6から送られてきた番組コードと経過時間のデータを読み取り、ビデオサーバ1に送出する(S2-1)。さらにビデオサーバ1は映像端末側から送出されてきたユーザIDを受信して、この確認確認情報を映像端末側のデマンド制御装置6に送り、この確認確認情報をデマンド制御装置6で受信される(S2-2)。

30

【0023】デマンド制御装置6は、S2-2で認証確認情報を受信すると、ICカード8の記憶部2-1に記憶されている番組コードと経過時間のデータを読み取り/書き込み装置1-3によって読み取り、ユーザIDを受信して認証確認情報を映像端末側のデマンド制御装置6に送り、この確認確認情報をデマンド制御装置6で受信される(S2-3)。このようにしてデマンド制御装置6からユーザIDと番組コードをビデオサーバ1に送信することにより、ユーザからビデオサーバ1に対する番組の配信要求がなされたことになる。ビデオサーバ1は、デマンド制御装置6から送られてきた番組コードと経過時間のデータを受信すると、番組コードで指定される番組の映像データを経過時間のデータで指示される時間位置から読み出すことで、その番組の配信を開始する(S2-4)。

40

【0026】ここで、配信中の番組が終了すると(S2-5)、デマンド制御装置6はICカード8の記憶部2-1に記憶されている番組コードおよび経過時間のデータを

する番組の配信要求がなされる。

【0021】ビデオサーバ1は番組選択情報を受信すると、その番組選択情報で指定される番組の番組コードをデマンド制御装置6に送出する。デマンド制御装置6では、ビデオサーバ1から送られてきた番組コードを受信すると(S1-4)、読み取り/書き込み装置1-3によってICカード8の記憶部2-1にその番組コードを記録する(S1-5)。この後、その番組コードに対応した番組、つまりS1-3で選択された番組の映像データがビデオサーバ1からデマンド制御装置6に送出され、テレビモニタ7で表示される(S1-6)。

【0022】ここで、映像端末を使用するユーザが没信中の番組の視聴を途中で停止したい場合、ユーザがその旨の操作を行うと、デマンド制御装置6からビデオサーバ1に途中停止命令が送信され(S1-7)、同時に読み取り/書き込み装置1-3によってICカード8の記憶部2-1にその番組の経過時間のデータ、つまり番組の視聴から停止した時間位置までの時間を示すデータが記録される(S1-8)。この後、映像端末のユーザがICカード8をデマンド制御装置6から抜き取ることによって、一連の処理は終了する(S1-9)。

【0023】次に、図4を参照して番組の途中からの受信動作、つまり映像端末が番組の受信を途中で停止した後、停止した時間位置から再び受信を開始する場合の動作について述べる。

【0024】図4において、S3-0～S3-2の動作は図3のS1-0～S1-2の動作と同様である。すなわち、映像端末のユーザがICカード8をデマンド制御装置6に装着すると(S2-0)、記憶部2-1に記憶されているユーザIDがビデオサーバ1に送出され(S2-1)、さらにビデオサーバ1は映像端末側から送出されてきたユーザIDを受信して認証確認情報を映像端末側のデマンド制御装置6に送り、この確認確認情報をデマンド制御装置6で受信される(S2-2)。

【0025】デマンド制御装置6は、S2-2で認証確認情報を受信すると、ICカード8の記憶部2-1に記憶されている番組コードと経過時間のデータを読み取り/書き込み装置1-3によって読み取り、ユーザIDと番組コードをビデオサーバ1に送信することにより、ユーザからビデオサーバ1に対する番組の配信要求がなされたことになる。ビデオサーバ1は、デマンド制御装置6から送られてきた番組コードと経過時間のデータを受信すると、番組コードで指定される番組の映像データを経過時間のデータで指示される時間位置から読み出すことで、その番組の配信を開始する(S2-4)。

【0026】ここで、配信中の番組が終了すると(S2-5)、デマンド制御装置6はICカード8の記憶部2-1に記憶されている番組コードおよび経過時間のデータを

読み取り／書き込み装置 13 によってリセットし (S 2 6)、次の番組の受信に備える。この後、映像端末のユーザが 1 C カード 8 をデマンド制御装置 6 から抜き取り、一連の処理は終了する (S 2 7)。

【0 0 2 7】

【発明の効果】 以上説明したように、本発明によれば映像端末のユーザが選択している番組の視聴を途中で停止した場合、ユーザの希望する別の任業の時間帯にビデオオーバーから同じ番組の続きを配信してもらうようになりますことができる。従って、視聴を中断した番組の映像データの配信を最初から受けける方法に比較して、ユーザは視聴時間と通信料金の節約を図ることが可能となることになります。実用上の効果は極めて大きい。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の実施例に係るビデオ・オン・デマンド・システムの概略構成を示すブロック図

【図 2】 図 1 におけるデマンド制御装置および 1 C カードの内部構成を示すブロック図

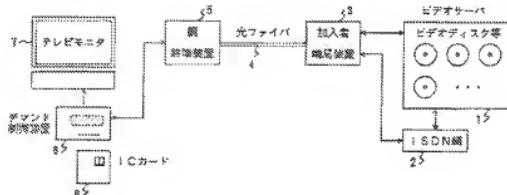
【図 3】 同実施例における番組の初期受信動作を説明するためのフローチャート

【図 4】 同実施例における番組の途中からの受信動作を説明するためのフローチャート

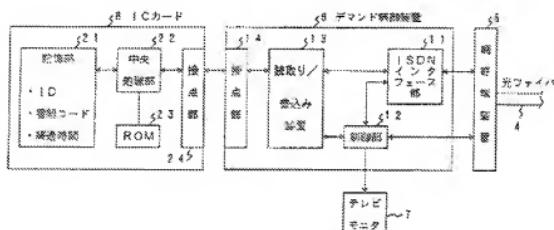
【符号の説明】

| | |
|------------------|------------|
| 1…ビデオサーバ | 2…ISDN回線 |
| 3…加入音端局装置 | 4…光ファイバ |
| 10…網絆装置 | 6…デマンド制御装置 |
| 7…テレビモニタ | 8…1 C カード |
| 11…ISDNインターフェース部 | 12…制御部 |
| 13…読み取り／書き込み装置 | 14…接点部 |
| 21…記憶部 | 22…中央処理部 |
| 23…ROM | 24…接点部 |

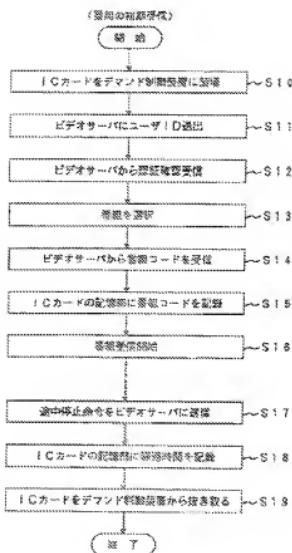
【図 1】



【図 2】



【図3】



【図4】

